学習院大学
GAKUSHUIN UNIVERSITY

日本語教育研究国際フォーラム

認知心理学の視点から捉える日本語学習者研究の新展開

日本語学習者がどのように言語情報を知覚し、理解しているのか――学習者の**「認知的な側面」**に焦点を当てた研究を紹介します。**実験デザイン**や**データ分析の方法**、そこから見えてきた**学習者の姿**についても共有します。さらに、これらの知見が**日本語教育の現場にどのように貢献できるのか**について議論を深めていきます。

「聴解の遂行過程における言語処理と認知制御」
費暁東（北京外国語大学北京日本学研究センター 副センター長）

「通訳の遂行過程における言語処理と認知制御」
宋啓超（北京外国語大学日本語学部 講師
/ 学習院大学東洋文化研究所 客員研究員）

「語彙の処理過程を多角的データ指標から考察する」
柳本大地（学習院大学国際センター 准教授）

「語彙の処理過程における形態と意味情報の並列的アクセス」
林暁雯（北京外国語大学北京日本学研究センター 博士前期課程在学
/ 東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室 外国人研究生）

- 日時：2025年7月24日（木）14:00～17:30
- 場所：学習院大学 北2号館10階　大会議室
- 入場無料／事前申し込み制（定員：40名）

お申し込みは以下のQRコードから↓↓

（共催）学習院大学文学部日本語日本文学科 / 学習院大学文学会
学習院大学東洋文化研究所 / 学習院大学国際センター

mail：daichi.yanamoto@gakushuin.ac.jp